

- 問1 飛鳥時代、聖徳太子が仏教を政治に取り入れた影響を受け、各地の有力な一族が競って寺院を建立しました。このような寺院建立の主な目的や当時の状況について説明したものととして、最も適切なものはどれですか。 (2021年 島根県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|-------------------------------------|---|
| 1. 聖武天皇が仏教の力によって国家の災いを取り除こうと考え、全国に一律の規格で建立した。 | 2. 豪族が自らの経済力や政治的な権威を周囲に示すため、一族の氏寺として建立した。 | 3. 武士が戦乱の世を逃れ、極楽往生を願って山奥に阿弥陀堂を建立した。 | 4. 地方を治める国司が、天皇の代替わりのために新しい行政拠点として建立した。 |
|---|---|-------------------------------------|---|
- 問2 聖徳太子が小野妹子を中国の隋に派遣した際、隋の皇帝に宛てた国書の中に「日出づるところの天子、書を日没するところの天子に致す、恙なきや」という一節がありました。このような表現を用いて使節を派遣した聖徳太子の意図として、最も適切な説明を選んでください。 (2022年 和歌山県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------------------------------------|--|---|--------------------------------------|
| 1. 当時の中国の圧倒的な武力を背景に、日本の統治権を委ねる意思を示すため | 2. 隋の皇帝の臣下として認めてもらい、朝鮮半島での軍事的優位を確保するため | 3. 中国を上位とする従来の形式ではなく、対等な立場での国交を樹立しようとするため | 4. 隋で流行していた新しい仏教の経典を、日本へ無償で提供してもらうため |
|---------------------------------------|--|---|--------------------------------------|
- 問3 645年に始まった政治改革の資料において、中大兄皇子や中臣鎌足が蘇我氏を打倒し、新たな政治体制を築こうとする記述が見られます。この一連の改革によって日本で初めて元号が導入された背景として、最も適切な説明はどれですか。 (2019年 熊本県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|--|---|
| 1. 中国の唐に対して完全な服従を誓い、唐と同じ元号を使用することで安全保障を得るため。 | 2. 蘇我氏が代々使用してきた独自の暦を廃止し、仏教の教えに基づいた新しい時間管理を行うため。 | 3. 有力な豪族たちが交代で元号を決める権利を持つことで、貴族政治の安定を図るため。 | 4. 天皇が国の主権者として時間を支配することを示し、中央集権国家の威信を内外に宣言するため。 |
|--|---|--|---|
- 問4 7世紀の日本における政治的な変遷をたどると、645年に蘇我氏を打倒した「乙巳の変」をきっかけに大きな改革が始まりました。この改革の中心人物であり、後に近江大津宮で即位して天智天皇となった人物は誰ですか。 (2022年 静岡県公立入試 類似)
- | | | | |
|----------|----------|---------|---------|
| 1. 大海人皇子 | 2. 中大兄皇子 | 3. 中臣鎌足 | 4. 聖徳太子 |
|----------|----------|---------|---------|
- 問5 推古天皇の即位や冠位十二階の制定などが記された7世紀初頭の歴史年表において、この時期に並行して栄えた文化の記述として、その特徴と中心地の組み合わせが適切なものを選びなさい。 (2017年 愛媛県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|--|---------------------------------------|
| 1. 貴族が日本の風土や生活に合わせた文化を生み出し、平安京を中心に栄えた。 | 2. 唐の文化の影響を強く受けた国際色豊かな文化であり、平城京を中心に栄えた。 | 3. 天武天皇や持統天皇の時期を中心とし、薬師寺の造営などに見られる文化である。 | 4. 日本最初の仏教文化であり、現在の奈良県にある飛鳥地方を中心に栄えた。 |
|--|---|--|---------------------------------------|
- 問6 「第一条に、和をなによりも大切なものとする」「第二条に、仏・法・僧の三つの宝を敬うこと」「第三条に、天皇の命令を承ったときは必ず謹んで従うこと」といった内容が記されている資料の、歴史的な背景として最も適切なものはどれですか。 (2023年 長崎県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|---|---------------------------------------|
| 1. 武士が政治の実権を握ったため、朝廷の権威を取り戻すための軍事的な規則を定めた。 | 2. 遣唐使によってもたらされた最新の法律制度をそのまま導入し、法治国家を目指した。 | 3. 豪族同士の争いを鎮め、天皇を中心とした中央集権体制の基礎を築こうとした。 | 4. 仏教を国教として定め、寺院が政治に介入することを認める特権を与えた。 |
|--|--|---|---------------------------------------|
- 問7 大化の改新で示された「公地公民」の制度が、のちに崩れていく要因となった出来事について説明したものととして、最も適切なものはどれか。 (2021年 和歌山県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|--|---|
| 1. 聖徳太子が冠位十二階を定め、氏姓制度にとらわれず個人の能力によって役人を登用し始めたこと。 | 2. 明治新政府が土地の所有権を認め、地価の3%を現金で納めさせる「地租改正」を実施したこと。 | 3. 武士が各地の土地を支配し、年貢の徴収権を確保するために「武家諸法度」を定めて統制を強めたこと。 | 4. 人口の増加にともなう土地不足を解消するため、開墾した土地の永年私有を認める「墾田永年私財法」が出されたこと。 |
|--|---|--|---|
- 問8 「和を以（もつ）て貴（たうと）しとなす」や「篤（あつ）く三宝（仏・法・僧）を敬え」といった一節が含まれ、天皇の命令には必ず従うことなどを役人に説いた法令が制定された「目的」として最も適切な説明はどれですか。 (2018年 三重県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------------------------------------|---------------------------------------|---|---|
| 1. キリスト教の布教を禁止し、貿易を制限することで幕府の権威を高めるため | 2. 律令に基づいて全国の土地と人民を直接支配する公地公民制を確立するため | 3. 豪族たちに役人としての自覚を持たせ、天皇を中心とした政治の仕組みを整えるため | 4. 武士に対して、領地をめぐる争いを解決するための公正な裁判の基準を示すため |
|---------------------------------------|---------------------------------------|---|---|
- 問9 大化の改新の中心人物である中大兄皇子が、天智天皇として即位した後に行った、律令国家の形成に向けた取り組みの説明として最も適切なものを次から選びなさい。 (2022年 徳島県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|--------------------------------------|---|
| 1. 仏教の力によって国を守るため、全国に国分寺・国分尼寺を建て、大仏を造立した。 | 2. 大規模な内乱である壬申の乱に勝利した後、強力な専制政治を行い飛鳥浄御原令を編纂した。 | 3. 冠位十二階や十七条の憲法を制定し、天皇中心の政治の仕組みを整えた。 | 4. 都を近江大津宮へと移し、日本で最初の全国的な戸籍とされる庚午年籍を作成した。 |
|---|---|--------------------------------------|---|
- 問10 推古天皇の摂政として冠位十二階や十七条の憲法を制定した人物が建てたと伝えられ、現存する世界最古の木造建築物として知られる飛鳥時代の寺院はどこですか。 (2021年 宮崎県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------|--------|--------|-----------|
| 1. 正倉院 | 2. 法隆寺 | 3. 延暦寺 | 4. 平等院鳳凰堂 |
|--------|--------|--------|-----------|
- 問11 大化の改新が行われた際、中国の制度にならって日本で初めて導入され、現代の「令和」に至るまで日本の歴史の中で継続して使われている制度は何ですか。 (2026年 愛媛県公立入試 類似)
- | | | | |
|----------|-------|-------|----------|
| 1. 租・庸・調 | 2. 律令 | 3. 元号 | 4. 班田収授法 |
|----------|-------|-------|----------|
- 問12 7世紀後半、朝鮮半島で百済が滅亡し、その救援に向かった日本軍も白村江の戦いで敗北したあとの日本の状況について、正しい説明はどれか。 (2019年 島根県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------------------------------------|------------------------------------|-------------------------------------|------------------------------------|
| 1. 唐や新羅の侵攻に備え、大宰府の北に水城を築くなどの防衛体制を整えた。 | 2. 高句麗と軍事同盟を結び、再び朝鮮半島へ出兵して新羅を攻撃した。 | 3. 渤海という国を建国し、唐を牽制するために新羅と友好関係を築いた。 | 4. 唐との国交を完全に断絶し、以後、一度も遣唐使を派遣しなかった。 |
|---------------------------------------|------------------------------------|-------------------------------------|------------------------------------|
- 問13 天武天皇が行った国家建設の取り組みにおいて、律令に基づいた政治を支えるために、全ての土地と人民を国家のものとする考え方を何といいますか。 (2022年 福岡県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|---------|---------|------------|
| 1. 地租改正 | 2. 公地公民 | 3. 版籍奉還 | 4. 墾田永年私財法 |
|---------|---------|---------|------------|

答え合わせ・解説

問1	答え 2 豪族が自らの経済力や政治的な権威を周囲に示すため、一族の氏寺として建立した。	飛鳥時代には、法隆寺や飛鳥寺に代表されるように、聖徳太子や蘇我氏などの有力な豪族が最新の文化である仏教を取り入れ、その勢力を誇示するために寺院を建立しました。これらは「豪族寺院（氏寺）」と呼ばれ、特定の氏族の繁栄を祈る性質が強いものでした。一方、選択肢にある「国家を守るために全国に建立された寺院」は、奈良時代の聖武天皇による国分寺・国分尼寺を指しており、建立の主体や目的が異なります。
問2	答え 3 中国を上位とする従来の形式ではなく、対等な立場での国交を樹立しようとするため	それまでの日本の外交は、中国の皇帝から称号を授かることで地位を認めてもらう「朝貢」の形式が一般的でした。しかし、聖徳太子は自らを「日出づるところの天子」と称し、隋の皇帝と対等の立場で交流しようと試みました。これには、日本の独立性を高めつつ、高度な技術や制度を吸収しようという目的がありました。
問3	答え 4 天皇が国の主権者として時間を支配することを示し、中央集権国家の威信を内外に宣言するため。	元号の制定は、単なる年数の数え方の変更ではなく、その土地を支配する君主が時間をも支配するという「空間と時間の主権」を象徴する行為でした。大化の改新において中大兄皇子らが日本初の元号「大化」を定めたのは、それまで力を持っていた蘇我氏などの有力豪族を抑え、天皇を中心とした律令国家を形成しようとする強い政治的意志の表れです。
問4	答え 2 中大兄皇子	蘇我入鹿を倒して権力を奪還した中大兄皇子は、中臣鎌足らとともに「大化の改新」と呼ばれる政治改革を推進しました。この改革は、豪族中心の政治から天皇を中心とする中央集権国家への転換を目指したもので、中大兄皇子はその後、正式に天智天皇として即位しました。
問5	答え 4 日本最初の仏教文化であり、現在の奈良県にある飛鳥地方を中心に栄えた。	飛鳥時代、特に推古天皇の時代には現在の奈良県明日香村周辺（飛鳥）に政治の拠点が置かれていました。渡来人の技術を取り入れた寺院建築や仏像制作が盛んに行われ、仏教を中心とした独自の文化が形成されました。選択肢にある平城京や天平文化、平安京や国風文化は、より後世の時代の特徴です。
問6	答え 3 豪族同士の争いを鎮め、天皇を中心とした中央集権体制の基礎を築こうとした。	当時の日本は有力な豪族が勢力を争っており、政治の混乱が続いていました。聖徳太子は、役人が守るべき道徳や心得を示すことで、豪族たちの対立を抑え、天皇を中心としたまとまりのある国を作ろうと考えました。仏教や儒教の教えが取り入れられているのは、それらが普遍的な倫理観として、豪族を教化し国家を統合するのに適していたためです。
問7	答え 4 人口の増加にともなう土地不足を解消するため、開墾した土地の永年私有を認める「墾田永年私財法」が出されたこと。	公地公民の原則では、土地はすべて国家のものでしたが、人口の増加によって人々に与える「口分田」が不足しました。そこで政府は、743年に「墾田永年私財法」を制定し、新しく開墾した土地の私有を永代にわたって認めました。これにより貴族や寺社が大規模な私有地（荘園）を持つようになり、公地公民の原則は次第に崩れていきました。
問8	答え 3 豪族たちに役人としての自覚を持たせ、天皇を中心とした政治の仕組みを整えるため	当時は豪族がそれぞれの領地や私民を支配していましたが、聖徳太子は彼らを国家の「役人」として位置づけようとしてしました。互いに争わずに協力すること（和）や、仏教を敬うこと、天皇の命令を遵守することを求めることで、豪族間の対立を抑え、天皇に権力を集中させる狙いがありました。なお、全国的な土地支配を定めた「公地公民」は、後の大化の改新以降の動きです。
問9	答え 4 都を近江大津宮へと移し、日本で最初の全国的な戸籍とされる庚午年籍を作成した。	中大兄皇子（天智天皇）は、白村江の戦いでの敗戦後、唐や新羅の侵攻に備えた国防の強化と並行して、国内の統治体制を整えました。近江大津宮への遷都や庚午年籍の作成は、中央集権的な律令国家を建設するための重要なステップとなりました。他の選択肢は、それぞれ聖徳太子（冠位十二階）、聖武天皇（大仏造立）、天武天皇（壬申の乱）の内容です。
問10	答え 2 法隆寺	聖徳太子によって建てられたと伝えられる法隆寺は、飛鳥文化を代表する寺院であり、現存する世界最古の木造建築物として知られています。正倉院は奈良時代の聖武天皇ゆかりの校倉造の建築であり、平等院鳳凰堂は平安時代に藤原頼通によって建てられました。また、延暦寺は最澄によって開かれた天台宗の寺院です。
問11	答え 3 元号	645年の改革に際し、日本で最初の元号として「大化」が定められました。これは、天皇が空間だけでなく「時間」も支配するという考え方に基づいたものです。以後、一部の中断を除いて現代まで元号の制度は引き継がれています。
問12	答え 1 唐や新羅の侵攻に備え、大宰府の北に水城を築くなどの防衛体制を整えた。	白村江の戦いでの敗北後、日本は唐・新羅連合軍の侵攻という国家存亡の危機に直面しました。そのため、中大兄皇子は九州の防衛を強化するために大宰府付近に水城や大野城を築き、防人を配備しました。また、内陸の大津宮への遷都や、戸籍の作成（庚午年籍）による徴兵体制の整備など、律令国家としての基盤形成が急がれる要因となりました。
問13	答え 2 公地公民	天武天皇から持統天皇の時代にかけて整備された律令国家の根本原則です。それまで豪族が私有していた土地や人民を国家の管理下に置き、戸籍に基づいて人々に田を与える「班田収授法」などを行うための基盤となりました。